

壁付サーモスタット式混合栓 KM3050 〈各仕様共通〉

施工説明書

施工業者様へ

施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
 - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、しては
いけない「禁止」の内容です

 この絵表示は、必ず実行して
いただく「強制」の内容です

**警告**

 禁止
湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

 禁止
給湯に蒸気を使用しないでください。
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

 **注意**
スチームルームおよび乾燥室にご使用の際は相談ください。
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

 禁止
給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。
85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

 禁止
配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。
通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

 **注意**
温度調節ハンドルの目盛が、吐水温度と合っているか確認してください。
取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならず、やけどをするおそれがあります。

 禁止
加工および接合等の改造はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 禁止
水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。
水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 **注意**
ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側ソケットが熱くないことを確認してください。
高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**注意**

 禁止
器具に強い力や衝撃を与えないでください。
器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

 禁止
凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。
水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

 禁止
塗装およびめっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。鋭利な物や硬い物を当てないでください。
塗装がはがれたり、めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。

 **注意**
塗装がはがれたり、めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。
けがをするおそれがありますのでただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。

取り付け前に

- ① 使用水压（A＝（給湯器の最低作動水压）＋（配管圧力損失））
- （1）瞬間給湯器との組み合わせ（設定条件 水温：25℃ 給湯器温度調節：高温 吐水温度：42℃ ハンドル全開）
〔比例制御式〕最低必要水压：A+50.0KPa（動水压）、最高水压：0.75MPa（静水压）
- （2）貯湯式給湯器との組み合わせ
〔給湯・給水圧力〕最低必要水压：A+50.0KPa（動水压）、最高水压：0.75MPa（静水压）
- ② 吐止水ハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は、50℃～60℃に設定することをおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造（加工および接合等）によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

故障かなと思ったら・・・

修理を依頼される前にお確かめください。

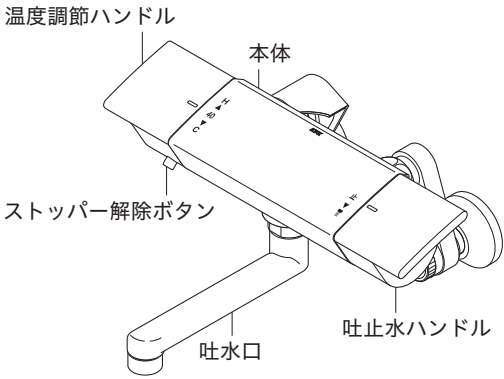
➡ **取扱説明書「故障かなと思ったら・・・」参照**

〔水栓本体内部のメンテナンスをする場合〕

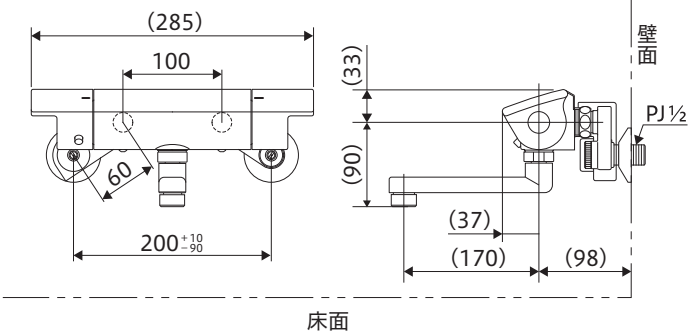
【**△注意**】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 / 分解図

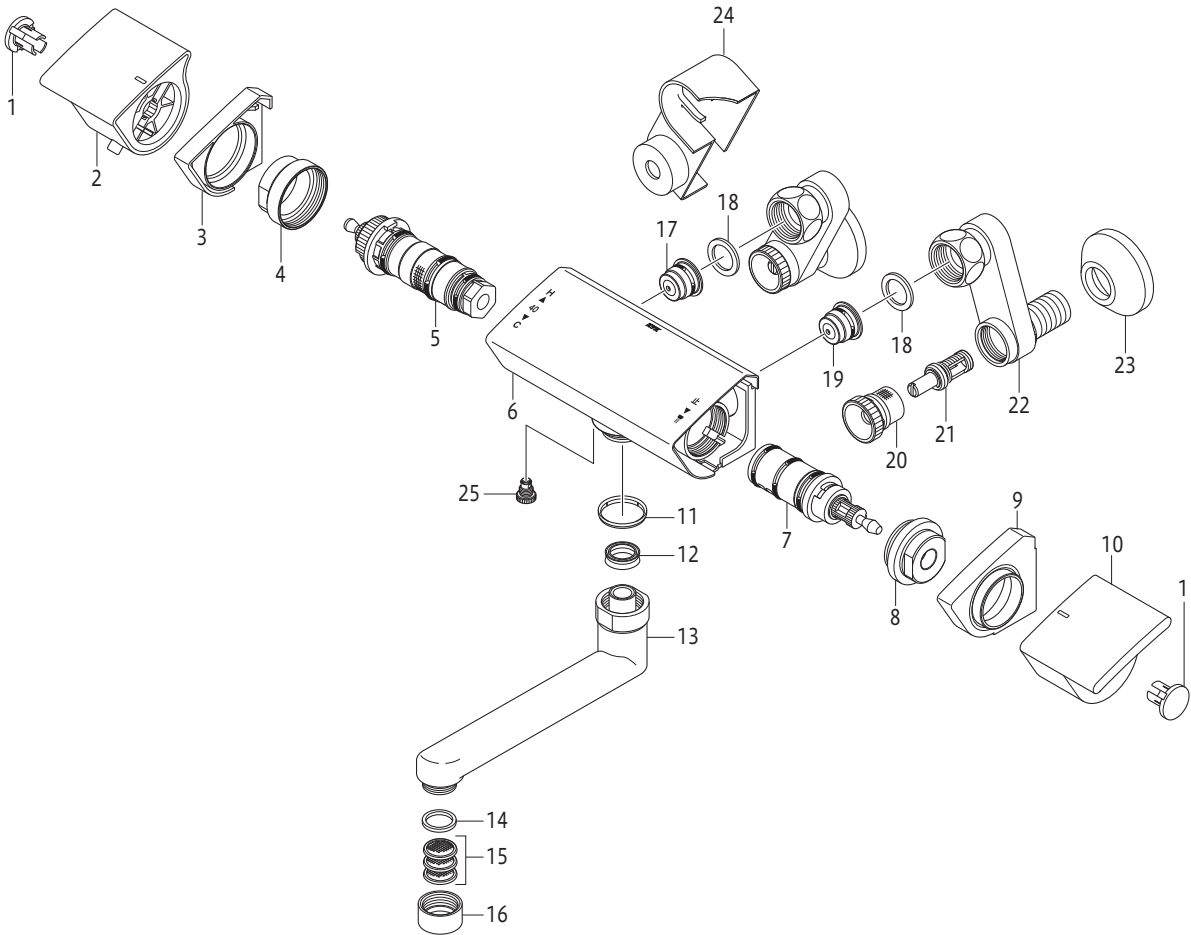
取り付け完成図と各部の名称



寸法図



分解図



1	キャップ	11	リング	21	止水弁
2	温度調節ハンドル	12	Xパッキン	22	ソケット
3	温調カラー	13	吐水口	23	送り座
4	温調固定ナット	14	パッキン	24	ソケットカバー
5	サーモスタットカートリッジ	15	ストレーナ	25	水抜き栓
6	本体	16	整流器キャップ		
7	止水ボンネットユニット	17	湯側逆止弁		
8	切換固定ナット	18	パッキン		
9	止水カラー	19	水側逆止弁		
10	吐止水ハンドル	20	ストレーナ		

